

田川広域 水道だより

TAGAWAKOUKI-SUIDOUDAYORI

4号
2025.1

新浄水場建設工事進捗状況(令和8年度完成予定)



新浄水場建設現場全景
令和6年10月末現在



大浦調整池

田川広域水道企業団（構成市町：田川市・川崎町・糸田町・福智町）では、水道の広域化（事業の統合）に伴い、老朽化した水道施設の更新、耐震化や効率的な水づくり等を目的として、新しい水道システムを構築しています。

新水道システムの構築に当たり、中心的な役割を担う新浄水場を田川市白鳥工業団地エリアに建設しています。その他、1市3町に、取水施設、配水池、管路等を整備しています。

また、新浄水場の完成後、当企業団の事務所を田川市役所別館から新浄水場管理棟内へ移転させ、より一体的な水道事業の運営を行う予定です。



災害に備えて 水を備蓄しましょう



●飲料水

飲料水は1人1日3リットル必要と言われていいます。最低でも3日分の備蓄をしておきましょう。大規模災害に備えるには「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

●生活用水

飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要になります。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意し、お風呂の水をいつも張っておくなど生活用水を確保しておきましょう。

「ローリングストック法」で 災害に備えましょう

ローリングストック法とは、日常で使う食材を多めにストックしておき、消費した分だけ買い足していく方法です。ローリングストック法で常に一定量の飲料水が備蓄されている状態を保ち災害に備えることができます。



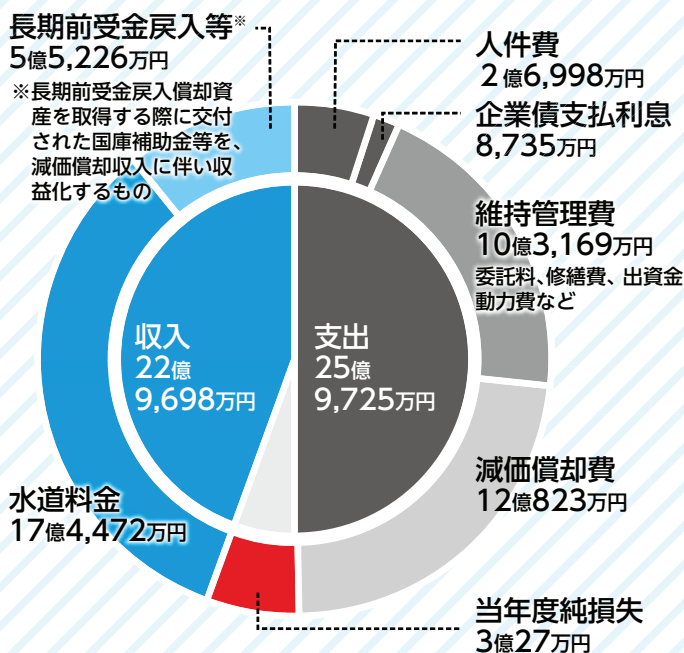
田川広域水道企業団水道事業会計 令和5年度決算を報告します

令和5年度決算は、令和6年11月27日の企業団定例会で認定されました。
水道事業は、公営企業として独立採算の原則に基づきお客様からお支払いいただく
水道料金収入を主な財源として運営しています。



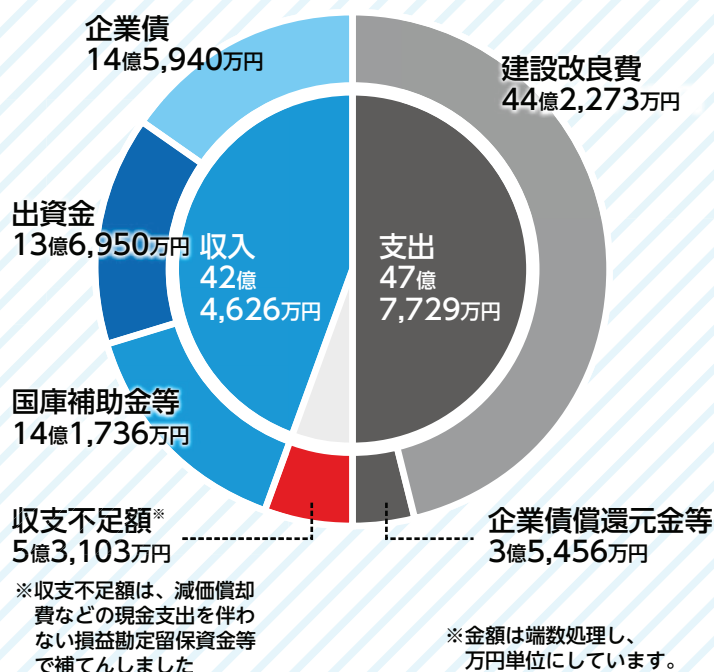
収益的収入 (消費税抜)

水道水を作り、届けるための収支



資本的収入 (消費税込)

水道施設を整備するための収支



令和5年度は、水道用水供給事業と1市3町（田川市、川崎町、糸田町及び福智町）の水道事業を統合しました。
事業統合に合わせ、令和5年4月から料金改定を行い、1市3町の水道料金体系を統一するとともに、料金窓口業務等を民間委託しました。

令和5年度の水道事業においては、年度を通じて大きな災害もなく、水道水を安定して供給することができました。
収益的収支は、純損失を計上しましたが、補助金等の収入により資金残高は前年度に対して11億1,088万円の増額となっており、健全な事業運営が行えました。また、水道広域化の取組として新浄水場の建設工事及び老朽管の更新工事等を行っています。今後も「安全」「強靱」「持続」の基本方針のもと、水道事業運営に取り組んでまいります。

- 料金センターおよび料金窓口では、料金のお支払い、水道の開閉栓の受付、その他水道料金についてのご相談の業務を行っております。

電話番号 0947-23-2171
(田川広域水道企業団料金センター)

営業時間 8:30~17:00
[福智町・糸田町の窓口は 17:15まで開庁しています]
土日祝日は休みです。

水道利用の開始(開栓)・中止(閉栓)の手続きがインターネットでできるようになりました。

詳しくはホームページをご覧ください。

田川広域水道企業団 🔍 検索



支払い忘れを防ぐためにも、口座振替をおすすめします！

※対応金融機関は納付書でご確認ください。口座振替日は検針した翌月の25日です。